

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		日常生活の指導	①道徳「きみのところをつよくするほん」（主婦の友社） ②保健体育「改訂新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう」（ひかりのくに）		
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思) 身の回りの生活と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法の確認、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	26
1 学期授業時数					26
2 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	30
2 学期授業時数					30
3 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	14
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		生活単元学習	①国語「ちいさなくも」（偕成社） ②社会「せかいのひとびと」（評論社） ③地図「ドラえもんちずかん1 にっぽんちず」（小学館） ④数学「あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのいち・に・さん」（金の星社） ⑤理科「ひかりうりのぴかこさん」（佼成出版社） ⑥職業・家庭「かがみえほん きょうのおやつは」（福音館出版）		
目標	(知) 体験的な活動を通して、生活に必要な技能を身に付ける。 (思) 自分の気持ちを他者に伝えたり、自分の役割を果たしたりする。 (学) 人や物と関わりながら、学んだことを生活に活用しようとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「3年生を頑張ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・1学期の行事等について ・新入生歓迎会の参加		(知) 自分のことを学級の友達に紹介することや、友達のことを知ろうとすることができる。 新しく入学する友達について知ることができる。 (学) 新入生の入学を祝う気持ちをもつことができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表しようとしたりする。 (学) 友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして一緒に過ごすことに期待感をもつことができる。	学年 学級	3
	「チャレンジタイム4」 ・学級の実態に応じた指導 ・調理、買物、スイッチ、おもてなし ・公共交通機関の学習 ・電気の通りの道の学習 ・運動会についての学習など	①④	学級の実態に応じた指導目標	学年 学級	9
	「育てて食べよう6」 ・畑作り、さつまいもの苗植え ・観察記録	⑤	(知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。 触っているものに意識を向けることができる。 (思) 植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付くことができる。 何を作っているかを考えたり、においや感触に気付き表現することができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	学年 学級	7
	「チャレンジタイム5」【進路学習】 ・学級の実態に応じた指導 ・調理、買物、季節の学習、おもてなし ・公共交通機関の学習 ・職場見学など		学級の実態に応じた指導目標	学級	5
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、1学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを発表しようとする ことができる。 (思) できるようになったこと等を表現する ことができる。 (学) 次の学期へ意欲を高める ことができる。	学年 学級	2
Ⅰ学期授業時数					26

2 学 期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について ・修学旅行に向けての役割決め ・見学地について調べる ・集団での行動、交通ルール	③	（知）学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 修学旅行の日程を知り、修学旅行に見通しをもつことができる。 （思）自分が楽しみな行事等を発表しようとする事ができる。 修学旅行での写真の中から、楽しみな活動や思い出を選び、友達に発表することができる。 （学）友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして2学期に期待感をもつことができる。 公共の場所で、交通ルールやマナーを学び、今後の生活に生かすことができる。	学年 学級	13
	「チャレンジタイム6」 ・単一学級との交流	②	学級の実態に応じた指導目標	学級	4
	「文化祭を頑張ろう3」 ・買物計画など		（知）文化祭の流れに見通しをもつことができる。 （学）友達へ働き掛けたり、働き掛けてもらったりすることで楽しむことができる。	学年 グループ 学級	6
	「育てて食べよう7」【調理】【食育】 ・さつまいもの収穫 ・さつまいもを使った学習	⑥	（知）触っているものに意識を向けることができる。植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。教師と一緒に活動することで、調理をしていることや何を作っているかに気付くことができる。 （思）触っているものに気付き、表現することができる。 （学）葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	学級	5
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、2学期の振り返り		（知）活動について知り、それに向けて期待感をもち、活動することができる。 （思）活動して思ったことや、感じたことを表現することができる。 （学）友達との関わりを楽しんだり、いつもとは違った雰囲気気付くことができる。	学年 学級	2
2学期授業時数					30
3 学 期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について ・ありがとうの会に向けた取組		（知）学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 （思）自分が楽しみな行事等を発表しようとする事ができる。 自分なりのやり方で、感謝の気持ちを相手に伝えることができる。 （学）友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして3学期に期待感をもつことができる。	学年 学級	4
	「卒業に向けて頑張ろう」 ・卒業生を送る会 ・卒業証書授与式練習 ・卒業証授与式予行練習		（知）卒業に向けた取組への、見通しをもつことができる。 （思）卒業式等に向けて自分で考えて行動しようとする事ができる。 （学）卒業に向けて期待感をもつことができる。	学年 グループ 学級	4
	「バスで出掛けよう3」【校外学習】 ・交通ルールの確認、行き先について調べる ・校外学習	②	（知）活動について知り、それに向けて期待感をもちながら活動することができる。 （思）活動して思ったことや、感じたことを表現することができる。 （学）友達との関わりを楽しんだり、いつもとは違った雰囲気気付いたりすることができる。	学年 グループ	4
	「3年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除		（知）感じたことや考えたことを発表しようとする事ができる。 （思）できるようになったこと等を表現することができる。 （学）高等部へ意欲を高めることができる。	学年 学級	2
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		作業学習 (クラフト)			
目標	(知) 紙を使った製作を通して、物の有無が分かり、道具を扱うことができる。 (思) 紙を使った製作を通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。 (学) 紙を使った製作を通して、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「牛乳パックで紙を作ろう」 【2・3学期も継続して行う。】 ・シュレッダーに掛ける。 ・紙の重さや水のかさを測る。 ・ミキサーで攪拌する。		(知) 物があることが分かり、自分から関わろうとすることができる。 手本や道具に注目することができる。 (思) 紙や水、パルプなどに触れ、表情や動き、声などで気持ちを表現することができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとするすることができる。	グループ 学級	13
1 学期授業時数					13
2 学期	「共同で作品を作ろう」 【3学期も継続して行う。】 ・型抜きパンチをする。		(知) 物があることが分かり、自分から関わろうとすることができる。 手本や道具に注目することができる。 (思) 紙や水、パルプなどに触れ、表情や動き、声などで気持ちを表現することができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、分業を通して友達を意識することができる。	グループ 学級	15
	「個人作品を作ろう」【3学期も継続して行う。】 (木工や染めなども含む) ・写真立てや容器などを作成する。 ・型抜きパンチをする。 ・のりで貼る。 ・作品を鑑賞する。 ・頑張り発表をする。		(知) 物があることが分かり、自分から関わろうとすることができる。 手本や道具に注目することができる。 (思) 素材に触れ、表情や動き、声などで気持ちを表現することができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとすることができる。	グループ 学級	
	「中学部マーケットに向けて製品をつくらう」 ・マグネット、チャーム、はがきの作成		(知) 物があることが分かり、自分から関わろうとすることができる。 手本や道具に注目することができる。 (思) 素材に触れ、表情や動き、声などで気持ちを表現することができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとすることができる。	グループ 学級	
2 学期授業時数					15
3 学期	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		(知) 中学部マーケットに向けて準備をしたり、友達に製品を渡したりすることができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとするすることができる。	学部 グループ 学級	2
	「牛乳パックで紙を作ろう」 「共同で作品を作ろう」 「個人作品を作ろう」 【1・2学期からの継続】		1・2学期と同様とする。		5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		作業学習 (園芸)			
目標	(知) 栽培活動を通して、物の有無が分かり、道具を扱うことができる。 (思) 栽培活動を通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。 (学) 栽培活動を通して、自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「畑・プランターの管理をしよう」 ・水やり		(知) スイッチ操作等により、水やりをすることができる。 (学) 花や野菜の成長を楽しみにしながら世話をすることができる。	グループ 学級	
	「牡蠣殻で肥料を作ろう(雨天時)」		(知) 牡蠣殻から肥料を作ることを知る。 (学) 友達や教師と協力して、肥料作りをすることができる。	グループ 学級	
1 学 期	「夏野菜を育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法) ・農具の扱い方 ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫		【畑作り】 (知) 肥料と土の違いに匂いなどで気付くことができる。 (思) 上肢や下肢を動かして畑の土と肥料を混ぜようとする ことができる。 (学) 土などの匂いや、感触を感じることができるような姿勢 を取ろうとすることができる。 【収穫】 (知) 収穫する野菜が何か知る。 (思) 長短や重軽など収穫物による素材の違いを知る。 野菜の匂いに反応したり、口を動かしたりして気持ちを表現す る。 (学) 収穫することに喜びを感じ、次の野菜の栽培へ意欲を高 めることができる。 【花の苗の植え付け】 (知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現し たり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取 ろうとすることができる。	グループ 学級	5
	「えんどう豆・そら豆・玉ねぎ・じゃがい もを収穫しよう」 ・収穫の仕方			グループ 学級	4
	「さつまいもを育てよう」 ・苗植え ・水やり		【苗植え】 (知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現し たり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取 ろうとすることができる。	グループ 学級	4
1 学期授業時数					13
2 学 期	「大根・人参を育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法) ・種まき ・水やり ・収穫		【種まき】 (思) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現し たり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取 ろうとすることができる。	グループ 学級	4
	「ブロッコリー・水菜・えんどう豆・そら 豆・玉ねぎを育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法) ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫			グループ 学級	7
	「さつまいもを収穫しよう」 ・はさみを使用した収穫			グループ 学級	4
2 学期授業時数					15

3 学 期	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知ったりすることができる。 (学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	2
	「じゃがいもを育てよう」 ・種芋植え ・水やり			グループ 学級	5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		作業学習 (手工)			
目標	(知) 手芸や工芸の製作を通して、物の有無が分かり、道具を扱うことが分かる。 (思) 手芸や工芸の製作を通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。 (学) 手芸や工芸の製作を通して、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「個人作業」 ・刺し子 ・ビーズ通し ・ステンシル ・リングはめ ・アイロンビーズ		(知) 基本的な道具の使い方を理解し、安全に扱ったり、正確さなどの技能を高めることができる。 (思) 作品などのデザインを考えたり、使用する道具や材料を選んだりして、完成品のイメージをもつことができる。 (学) 得意な活動を見付けたり、やりがいを感じたりするなど、創作意欲を高めることができる。 決められた時間集中して作業をすることができる。	グループ 学級	
1 学 期	「基礎練習をしよう」 ○基礎練習や小物作り（ポケットティッシュカバー・ランチョンマット）など ・ミシン掛け ・アイロン掛け ・布の裁断 ・印付け ・ボタン付け ・縫製		(知) スイッチを押したらミシンが動くことが分かったり、スイッチを使って操作したりすることができる。アイロンのかけ方を知る。ステンシルで模様を付けることができる。 (思) イラストを見ながら、自分の作りたいデザインを考える。 (学) 自分からスイッチを押そうとするなど意欲的に活動することができる。	グループ 学級	13
1 学期授業時数					13
2 学 期	「パソコンカバーを作ろう（共同製作）」 ○分業によるパソコンカバーの製作 ・仕事分担 ・作業の流れ確認 ・布の裁断・印付け ・縫製 ・アイロン仕上げ		(知) スイッチを押したらミシンが動くなどが分かる。友達と関わりながら活動することができる。 (思) ミシンが動く振動を感じるすることができる。 (学) 自分からスイッチを押そうとするなど意欲的に活動することができる。	グループ 学級	10
	「個人作品を作ろう」 ウォールポケット トートバッグ (上記を隔年で扱う。R6年はトートバッグ) ・印付け ・布の裁断 ・縫製 ・飾り付け		(知) スイッチを押したらミシンが動くなどが分かる。 (思) ミシンが動く振動を感じるすることができる。 (学) 自分からスイッチを押そうとするなど意欲的に活動することができる。	グループ 学級	5
2 学期授業時数					15
3 学 期	「パソコンカバーを作ろう（共同製作）」 (2 学期同様)		2 学期同様	グループ 学級	3
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知ったりすることができる。 (学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	2
	「個人作品を作ろう」 ・縫製 ・飾り付け ・仕上げ ・作品発表会		2 学期同様	グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		作業学習 (陶芸)			
目標	(知) ものづくりを通して、物の有無が分かり、道具を扱うことが分かる。				
	(思) ものづくりを通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。				
	(学) ものづくりを通して、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「小皿を作ろう（個人製作）」 ・小皿作りの全工程（伸ばし、型取り、成形）を経験し、小皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、小皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿のこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。		(知) 粘土や道具の感触が分かる。 道具を使って粘土を伸ばそうとしたり、握ったりすることができる。 (思) 自分から粘土等に触ろうとすることができる。 (学) 友達と関わりながら活動することができる。自ら粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとする事ができる。	グループ 学級	6
	「中皿、箸置きを作ろう（個人製作）」 ・中皿作りの全工程（伸ばし、型取り、成形）を経験し、中皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、中皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、中皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・中皿のこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等		(知) 粘土や道具の感触が分かる。 道具を使って粘土を伸ばそうとしたり、握ったりすることができる。 (思) 自分から粘土等に触ろうとすることができる。 友達と関わりながら活動することができる。 (学) 自ら友達や粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとする事ができる。	グループ 学級	7
1 学期授業時数					13
2 学期	「協力して小皿、中皿、箸置きを作ろう（分業）」 ・小皿、中皿作りについて、作業工程ごとにグループで分かれ、分業作業を行う。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿、中皿のこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。 ・箸置きの製作をする。 ・中学部マーケットに向けた製品作りを行う。		(知) 粘土や道具の感触が分かる。 道具を使って粘土を伸ばそうとしたり、くっつけたりすることができる。 (思) 自分から粘土等に触ろうとすることができる。 釉薬を掛けることで粘土の色が変わることに注目することができる。 (学) 自ら粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとする事ができる。	グループ 学級	10
	「共同製作をしよう」 ・文化祭に向けた取組をする。		(知) 文化祭に共同製作を展示することを知ることができる。 (思) 自分から粘土等に触ろうとすることができる。 (学) 自ら粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとする事ができる。	グループ 学級	4
	「コップを作ろう（個人製作）」 ・コップ作りの全工程（伸ばし、型取り、成形）を経験し、コップ作りへの見通しをもつ。		(知) 粘土や道具の感触が分かる。 道具を使って粘土を伸ばそうとしたり、くっつけたりすることができる。 (思) 自分から粘土等に触ろうとすることができる。 釉薬を掛けることで粘土の色が変わることに注目することができる。 (学) 自ら粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとする事ができる。	グループ 学級	1
2 学期授業時数					15

3 学 期	「コップを作ろう（個人制作、分業）」 ・個人でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。 ・分業でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。		（知）粘土や道具の感触が分かる。 道具を使って粘土を伸ばそうとすることができる。 （思）自分から粘土等に触ろうとすることができる。 友達と関わりながら活動することができる。 （学）自ら友達や粘土等に関わろうとすることができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとするこゝができる。	グループ 学級	5
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		（知）販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知ったりすることができる。 （学）販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		音楽科	①CD付き 楽器カード（くもん出版）		
目標	（知）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思）音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 （学）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 （表現「歌唱」「身体表現」） ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通した友達との関わり合い		（知）曲名や曲想と、簡単な音楽のつくりについて気付き、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 （思）音や音楽に興味をもって聴くことができる。 （学）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。 【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達の段階に応じた、日常生活に関連した曲 「おぼろ月夜」（文部省唱歌） 「まきばの朝」（文部省唱歌） 「ふるさと」（文部省唱歌） 「冬げしき」（文部省唱歌） 「越天楽今様（歌詞は第2節まで）」（日本古謡） ※ 1曲以上適切に取り扱うようにする。	グループ 学級	
1学期	「いろいろな楽器について知ろう」 （表現「器楽」「音楽づくり」） ・楽器カードを使用した様々な楽器・名称の理解 ・実物の楽器に触れる体験活動・映像や教師による楽器演奏の鑑賞 ・打楽器、旋律楽器、鍵盤楽器での自由演奏や伴奏に合わせた合奏 ・いろいろな音の響きの特徴を知る活動 ・設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして、簡単な音楽を作る活動	①	（知）拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付き教師や友達と一緒に演奏することができる。 （思）身近な打楽器などに親しみ、音を出そうとする思いをもちことができる。 （学）楽器を演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	11
	「たのしくコンサート7」 （鑑賞） ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	（知）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 （思）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 （学）鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
1 学期授業時数					13
2学期	「みんなで演奏しよう3」 （表現「器楽」） ・様々な打楽器の自由演奏やリズム打ちの練習 ・伴奏や友達に合わせることを意識した合奏と練習	①	（知）拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付き教師や友達と一緒に演奏することができる。 （思）身近な打楽器などに親しみ、音を出そうとする思いをもちことができる。 （学）友達と演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	12
	「たのしくコンサート8」 （鑑賞） ・たのしくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	（知）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 （思）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 （学）鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	3
2 学期授業時数					15

3 学 期	「卒業証書授与式の歌を練習しよう3」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習		(知) 特徴的な曲調に気づき、友達や教師と一緒に歌ったり、演奏したりすることができる。 (思) 曲の旋律を自分らしく歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	5
	「たのしくコンサート9」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 (思) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		美術科	①「たのしい工作教室 木のぞうけい教室」 （さえら）		
目標	(知) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫して作るようにする。 (思) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。 (学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「Tシャツのデザインをしよう3（プリント）」 ・テーマ、デザインの検討 ・モダンテクニックを用いた表現 ・表現した絵を基にしたデザイン画の制作 ・プリントの転写方法の理解、体験 ・作品の鑑賞		(知) モダンアート技法を知り、様々な技法で表現することができる。 (思) モダンアートで使う、色や道具を自分で選んで、表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、活動場面を振り返りながら、作品の良さや面白さ、技法の使用に気付くことができる。 (学) Tシャツのデザイン画の作成を通して、より良い作品を目指そうとする態度を身に付ける。	学級	13
1 学期授業時数					13
2 学期	「木工作品を作ろう」 ・金づちの扱いの理解 ・木片をのこぎりで切るのを見る、金づちで釘を打つなどの練習 ・テーマ、デザインの検討 ・様々な材料や用具を用いた制作活動 ・作品の鑑賞	①	(知) 材料や用具の使用法を知り、適切に使用しながら、木を加工し作品を作り上げることができる。 (思) 作品の完成図をイメージするとともに、木を切ったり貼ったり、組み合わせたりしながら、作品に表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、木の加工方法に気付くことができる。 (学) 木の加工活動を通して、より良い作品を目指そうとする態度を身に付ける。	学級	15
2 学期授業時数					15
3 学期	「みんなで思い出の作品を作ろう」 ○学年（グループ）で3年間の思い出を表現した作品の共同制作 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動 ・段ボールなどを用いての立体作品の制作活動 ・作品の鑑賞、展示		(知) 自分の担当する部分が、作品のどの部分になるのかを意識して作成することができる。 (思) 制作物のイメージを広げ、友達と一緒に担当する部分を作ることができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) 友達と一緒に活動していることを実感し、協力しながら作品を作ることができる。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第3学年 重複A類型		自立活動			
目標	学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	○健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5) 健康状態の維持・改善に関すること。 ○心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること。 (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。 ○人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。 ○環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること。 (2) 感覚や認知の特性への対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 ○身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4) 身体の移動能力に関すること。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 ○コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。 6項目27区分から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて設定した指導内容		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	299
Ⅰ 学期授業時数					299
2 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	345
2 学期授業時数					345
3 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	161
3 学期授業時数					161
総授業時数					805